

岐阜県内建設発生土処理対策委員会(概要)

(県道大西瑞浪線内新五月橋(仮称)の架け替え工事で発生する建設発生土対策の内容及び骨材製造設備で発生する脱水ケーキの対応方針を確認することを目的に令和7年6月30日に開催)

新丸山ダム工事事務所で実施している「新丸山ダム建設事業」における県道大西瑞浪線内新五月橋(仮称)の架け替え工事で発生する建設発生土対策の内容及び「新丸山ダム建設事業」における骨材製造設備で発生する脱水ケーキの対応方針について確認することを目的に、岐阜県内建設発生土処理対策委員会を令和7年6月30日に開催しました。



委員会の様子

○委員会名簿(※五十音順)

所 属	氏 名
岐阜大学 工学部	神谷 浩二 教授
岐阜大学	小嶋 智 名誉教授
岐阜大学	佐藤 健 名誉教授
岐阜大学	篠田 成郎 名誉教授
岐阜医療科学大学	永瀬 久光 教授

※永瀬教授については別日(令和7年6月18日)に説明を行い、ご意見を伺った。

○委員会決定事項(県道大西瑞浪線)

<掘削土の評価について>

- 施工時に合わせ、一定土量毎に自然由来重金属等8項目を対象とした溶出量試験、含有量試験、酸性化可能性試験を行い判定する方針としました。

<掘削土の仮置き方法について>

- 仮置きヤード候補地の周辺状況を示したうえで、仮置き計画を確認しました。

<水質モニタリングについて>

- 仮置きヤード、封じ込め箇所での水質モニタリング箇所、試験項目、基準値及び試験頻度を確認しました。

<要対策土の封じ込め方法について>

- 橋台背後のU型擁壁内に封じ込めする方法を確認しました。

○委員会決定事項(脱水ケーキ)

<脱水ケーキの対策方針について>

- 自然由来重金属等を含有する脱水ケーキは、不溶化材を添加することにより不溶化・固化を行い、適切に管理しながら盛土材として利用する方針としました。

○現場視察内容

- 県道大西瑞浪線の要対策土の封じ込め箇所、脱水ケーキの現状について視察しました。